

## 1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設		
指定管理者	特定非営利活動法人駅舎と共について		
設置目的	歴史的な建造物を保存・活用し、ふれあいの場として提供することと、観光情報の発信拠点として、農村交流・世代間交流・学術交流を深め、地域活性化に繋げるため。		
選定方法	公募・ <b>非公募</b>	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光振興課		

## 2 利用状況等の推移

	令和4年度	年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	12,486				
利用料金(円)	—				
指定管理料(円)	92,000				

## 3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設の利用人数	5,000名	6,500名	12,486名	192%
施設を利用したイベント企画数	3件	3件	5件	167%

## 4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	—	人件費	0
指定管理料	92,000	維持管理費	523,279
事業収入	143,948	事業費	171,767
その他	375,450	その他	0
合計	611,398	合計	695,046
差額			△83,648

## 5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	◎	小浜線全線開通 100 周年に合わせイベント等多くの事業を行ったほか、市内外のイベントにも積極的に出展し、施設の認知度向上に繋がった。 また、カフェ事業など利用者へのおもてなし満足度向上にも引き続き取り組み、市民のみならず市外からの利用増加に繋がった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	小浜線全線開通 100 周年に合わせた事業や、これまで同様にロケ撮影などの協力をするなど、日本遺産の構成文化財の周知、ブランド価値向上に貢献した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	住民やボランティアなどとともに草刈りや清掃などの保守管理を実施した他、カフェ事業により駅利用者へのトイレ提供や観光案内など活動拠点としての取組を行った。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	◎	小浜線全線開通 100 周年に合わせた事業や、カフェ事業で多くの方の利用があり、今後に繋がる効果的な事業となった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	◎	小浜線全線開通 100 周年に合わせた事業や、カフェ事業などにより前年度比 2.5 倍以上の利用者数となった。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	利用者・来場者に対し、常に親切丁寧な対応に努める姿勢は評価でき、リピーターも多いため利用者の満足度は高いと考える。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	定期的にモニタリングを行い、利用者の意見把握に努めている点で評価できる。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	トイレ等利用者の要望・苦情に対して迅速に対応を行うなど評価できる。
<b>(3) 管理運営の効率性</b>		
経費の節減が図られたか	△	小浜線全線開通 100 周年に合わせイベント等多くの事業を行ったほか、市内外のイベントにも積極的に出展し、施設の認知度向上を図った結果、赤字決算となった。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	適切に取り組みされた。
収入増加のための取組が行われたか	○	管理施設や市内外でのイベントなどでの寄付金募集を行うなど収入増加のための工夫が見られた。 今後もさらに収入増加するよう取り組みたい。
<b>(4) 適正な管理運営</b>		
適切な人員配置が行われたか	○	最低限の配置は行われた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われた。
施設の平等な利用が行われたか	○	適切に行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われた。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われた。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われた。
危機管理、安全対策などは十分か	○	適切に行われた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われた。
<b>(5) その他コメント</b>		
サービス向上		観光客への案内のため、観光パンフレットの配架・ポスターの掲示等に取り組みされた。また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、カフェ事業に取り組みされており、カフェ営業に加えトイレ提供や観光案内なども行い、利用者の満足度向上に繋がる取組が進められている。 令和4年度は小浜線全線開通100周年にちなんだ事業を行い、駅舎利用者に楽しんでいただける取組を行った点が評価できる。
経費削減		小浜線全線開通100周年にちなんだ事業を多く実施したことによりNPO全体として赤字計上となった。 令和5年度は、引き続き節電等に尽力されるほか、駅舎関連グッズ販売など寄付金収入の増加にも取り組みたい。
施設の維持・管理		観光客へのおもてなしの向上へ向けた取組や、地域コミュニティの活性化の拠点としての活動を、NPOのみならず地元住民や舞鶴高専、その他関係者と連携し実施する点は、目に見える以上の非常に大きな収穫があったものと思われる。 令和5年度は、小浜線全線開通100周年をきっかけに駅舎のことを知っていただいた方にもう一度足を運んでもらえるよう取り組みたい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

## 6 選定委員会による評価

評価点	4点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	利用者数が大きく伸びている。 目標達成と自主事業に努力が見られる。 適切に管理されている。地域活性化のため努力されている。 賑わいを作れていると思う。高専生を上手に巻き込んでいることが素晴らしい。カフェは市民の人気も高い。	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均
点	点	点	点	点